

日本酒の容器に対する消費者の意識について

野村 佳司・木曾 邦明

Analysis of consumer preference for vessels of Sake

Yoshitsugu NOMURA and Kuniaki KISO

緒 言

独立行政法人酒類総合研究所技術開発研究室では、現在の日本酒容器の問題点や消費者のニーズ等を把握し、その結果を今後の日本酒容器の開発の参考にするために、日本酒の容器に対する消費者の意識調査を行った。

調 査 方 法

調査は平成13年10月31日（水）の酒類総合研究所施設公開時に、来所した見学者を対象に記入方

式でアンケートを実施した。アンケート様式は表1のとおりである。

アンケート回答者数等は表2のとおりである。

表2 アンケート回答数等（単位 人）

	男性	女性	不詳	合計
全体	114	86	1	201
20代	20	24		44
30代	26	14		40
40代	25	19		44
50代	20	22		42
60代	18	4		22
70代	3	3		6
不詳	2		1	3

調 査 結 果

1 消費者の酒類の好み（表3）

全体では、よく飲む酒は「ビール・発泡酒」が一位で41%を占め、次に「日本酒」が23%、続いて「ワイン」、「リキュール」、「本格焼酎」の順となった。これを年代別にみると、「ビール・発泡酒」と「本格焼酎」はどの年代もほぼ一定であったが、「日本酒」は年齢が高くなるほど比率が高くなり、逆に「ワイン」「リキュール」は若い世代ほど飲酒比率が高いという結果を得た。性別では、「ビール・発泡酒」が男女とも40%程度で一番飲まれているが、他の酒類では男女で異なり、男性は女性に比べると「日本酒」「本格焼酎」の飲酒比率が比較的高く、女性では「ワイン」「リ

日本酒の容器に関するアンケート

独立行政法人酒類総合研究所 技術開発研究室

当研究室では日本酒の容器開発を行っています。みなさまのご意見をお聞かせ下さい。該当項目の口をチェックまたはご記入をお願いいたします。

Q1 あなたは 男性 女性

Q2 あなたの年齢は 20代 30代 40代 50代 60代 70以上

Q3 あなたがよく飲む酒は（複数回答可）
日本酒 ビール・発泡酒 本格焼酎 ホワイトリカー
ワイン ウイスキー ブランデー 合成清酒
リキュール（梅酒、チューハイ等） その他（ ）

Q4 日本酒を飲むときは？（複数回答可）
お燗 冷やして 室温 オンザロック
水、お湯等でうすめて カクテル（ ）
その他（ ）

Q5 日本酒の保管場所は？
冷蔵庫 室内（流台の下等の冷暗所） その他（ ）

Q6 現在の日本酒の容器について（複数回答可）
 欠点
デザインが悪い 重い 容量が多い 栓が閉じにくい
処分しにくい その他（ ）
 長所
デザインが良い 適度な重さ 容量が適当 栓が閉じやすい
リサイクルで環境に良い その他（ ）

Q7 一升瓶の使用について（複数回答可）
今後使おうべき 今後使わない わからない
リサイクルで環境に良い 経済的
割れやすい 重い 保存・取扱い 処分しにくい
その他（ ）

Q8 日本酒の容器に望むことは（複数回答可）
軽さ デザイン 割れない 容量が見える 冷蔵庫保管が可能
重さ リサイクル 使い回りの容易 花び等を活用
処分しやすい 環境に良い 直接食味入 容量
その他（ ）

Q9 日本酒容器の色として最もさわしい色は？
 色：理由

Q10 日本酒容器の容量としては？
180ml 200ml 300ml 500ml 720ml
900ml 1L 1.8L 2L
その他（ ml：理由）

Q11 日本酒容器としてふさわしい材質は？
ガラス PET 陶磁器 アルミ 紙 ステンレス
その他（ 理由）

Q12 その他日本酒容器についてお気づきの点がありましたら自由に記入下さい。

御協力ありがとうございました。研究に活用させていただきます。

表1 アンケート用紙

表3 あなたがよくお飲みの酒は (単位 %)

	回答数 (n)	日本酒	ビール・発泡酒	本格焼酎	ホワイトリカー	ワイン	ウイスキー	ブランデー	合成清酒	リキュール	その他
全体	375	23	41	7	0	14	5	1	0	9	1
男性	228	27	41	10	0	11	6	0	0	5	0
女性	146	17	39	4	0	18	3	1	0	16	1
20・30代	163	18	40	6	0	17	4	1	0	15	1
40・50代	155	24	42	9	0	12	6	1	0	6	1
60・70代	53	36	36	8	0	9	6	2	0	2	2

表4 日本酒を飲むときは (単位 %)

	回答数 (n)	お燗	冷やして	室温	オンザロック	うすめて	カクテル	その他
全体	246	35	48	11	1	4	1	0
男性	152	38	46	13	1	1	0	1
女性	93	29	49	9	1	10	2	0
20・30代	105	24	56	11	2	6	1	0
40・50代	101	44	42	10	1	2	1	1
60・70代	37	43	35	14	0	8	0	0

キュール」の飲酒比率が男性より高い傾向が見られた。

2 日本酒の飲み方 (表4)

全体では日本酒を冷やして飲むと回答したの方が燗をして飲むと回答した人より多いという結果になった。性別では、男性は女性に比べて、燗をして飲む人が多いことがわかった。一方、女性はうすめて飲むと回答した人が10%あり、今の日本酒が他の酒類に比べアルコール度数が高いとの意識を持たれていることを示し、女性市場を開拓するにはアルコール度数の低い商品の投入が必要であることが示唆された。

年代別では、20・30代は冷やして飲む人の割合が高いのに対し、40・50代では冷やして飲む人とお燗で飲む人の割合がほぼ等しく、60・70代ではお燗で飲む人が冷やして飲む人を上回り、ターゲットとする年齢を考慮した商品設計の必要性も示された。

3 日本酒の保管場所 (表5)

室内で保管している人が69%、冷蔵庫で保管し

表5 日本酒の保管場所 (単位 %)

	回答数 (n)	冷蔵庫	室内	その他
全体	202	30	69	1
男性	111	28	71	1
女性	89	33	66	1
20・30代	80	38	63	0
40・50代	89	26	72	2
60・70代	29	17	83	0

ている人が30%となっている。年代別の状況では、年齢が若くなるほど冷蔵庫で保管している人の割合が高くなる傾向にあるが、いずれの年代も室内で保管する人の割合が圧倒的に高いことに変わりがない。このことから、室内の保管に適した容器で、照明や室温の影響を受けにくく、品質を保護する容器等の開発を検討する必要があることが示唆された。

4 日本酒の容器に対するイメージ (表6・表7)

デザインについて、全体では良いとする意見と悪いとする意見がほぼ同数であった。しかし、年代により意見が異なり、20・30代ではデザインが良いが悪いを上回り、20・30代の若年層は日本酒

表6 現在の日本酒の容器について(欠点)(単位 %)

	回答数 (n)	デザインが悪い	重い	容量が多い	栓が開けにくい	処分しにくい	その他
全体	195	15	27	24	7	23	3
男性	123	17	28	24	7	22	2
女性	72	13	26	24	8	25	4
20・30代	85	11	27	33	5	21	4
40・50代	85	21	29	16	11	20	2
60・70代	24	13	17	21	4	42	4

表7 現在の日本酒の容器について(長所)(単位 %)

	回答数 (n)	デザインが良い	適度な重さ	容量が適当	栓が開けやすい	リサイクルできる	その他
全体	177	16	4	25	15	38	2
男性	107	14	3	23	17	39	4
女性	69	19	6	28	12	36	0
20・30代	79	23	3	24	15	34	1
40・50代	68	10	4	26	10	46	3
60・70代	27	4	7	26	26	33	4

容器のデザインに好意的である。40・50代は逆にデザインが悪いが良いを上回った。60・70代ではデザインに関する意見は少ないものの、デザインが悪いがデザインが良いを上回る傾向が見られた。これらのことから、中高年代にアピールできるデザインの容器の必要性が示唆された。

重さについては、「重い」という意見が「適度な重さ」という意見を上回り、日本酒の容器の軽量化が求められていることがわかった。

容量については「多い」という意見と「適当」という意見がほぼ拮抗したが、40・50代では「容量が適当」、20・30代では「容量が多い」という意見が多く、20・30代向けの容器容量の工夫の必要性が示された。

容器の栓については、「栓が開けやすい」という意見が多く、他の酒類に比べても栓が開けやすいということから、栓については消費者の理解を概ね得ている傾向にあると考えられる。

日本酒の容器は「リサイクルできる」という意見が多く、環境にやさしいとのイメージを持たれている。特に、40・50代の評価が高い。ただ容器の欠点としては、今まで指摘された「容量」「重

さ」以外に、「処分しにくい」との意見も多く、特に60・70代では指摘が高く、リサイクルのルールの広報が必要であることがあげられる。

5 一升瓶に対するイメージ(表8・表9)

今後の「一升瓶の使用について」は、「今後も使うべき」との回答が「今後は必要ない」と回答した人を大きく引き離した。その肯定的な理由としては「リサイクルでき、環境によい」が多く、否定的な理由としては「重い」が多かった。女性の方が「リサイクルでき、環境によい」とする意見が男性より10ポイント多く、女性の方が環境問題に関心を持ち、一升瓶の使用に理解を示している。20・30代の意見で特徴的なのは、40・50代に比べ「重い」という指摘が多く、「リサイクルできる」、「経済的」という意見が少ないことが特徴的であった。

6 これからの日本酒容器に望むこと(表10)

この質問に対する回答では、「伝統」、「リサイクル」、「冷蔵庫保管」がそれぞれ10%をこえており、容器開発の重要なポイントではないかと考え

表8 一升瓶の使用について (単位 %)

	回答数 (n)	今後も使うべき	今後は必要ない	わからない
全体	148	63	21	16
男性	87	63	24	13
女性	60	63	15	22
20・30代	70	60	17	23
40・50代	61	62	28	10
60・70代	15	80	7	13

表9 一升瓶の使用について (理由) (単位 %)

	回答数 (n)	リサイクルできる	経済的	割れやすい	重い	保存・収納	処分しにくい	その他
全体	154	39	6	8	23	6	11	5
男性	91	35	5	9	24	8	11	8
女性	61	46	8	7	23	5	10	2
20・30代	68	32	3	10	28	7	9	10
40・50代	57	46	9	7	19	4	14	2
60・70代	25	44	8	4	24	12	8	0

表10 日本酒の容器に望むこと (単位 %)

	回答数 (n)	伝統	ファッショ ン	割れない	残量が見える	冷蔵庫 保管	重さ	リサイ クル	使い切り	色	花瓶等 再利用	処分のし やすさ	環境に よい	直接 食卓へ	容量	その他
全体	390	16	7	6	8	10	6	13	4	3	3	8	9	6	2	0
男性	224	18	8	5	9	11	4	14	4	3	1	8	9	4	2	0
女性	164	12	6	7	7	10	8	12	4	2	5	9	9	7	2	0
20・30代	179	16	6	5	7	9	7	12	3	3	3	9	11	4	3	0
40・50代	156	14	10	7	8	13	4	15	4	1	3	6	5	7	3	0
60・70代	48	17	2	6	13	8	2	10	4	2	2	13	15	6	0	0

る。

7 日本酒容器の色として最もふさわしい色(表11)

日本酒のイメージ向上に役立てるためにふさわしい容器の色は「青」、「透明」、「茶」、「緑」「白」の順となった。「青」と答えた理由は「さわやか」「清涼感」「おいしそう」など、「透明」は「中身がよく見える」「お酒の本当の色がわかる」「残量がよくわかる」などが多い。「茶」は「光で変質しない」「リサイクル」「伝統」と挙げた人が多い。「緑」は「きれい」、「白」は「米の色だから」「清潔感」などであった。性別で、男性は「透明」「茶」など機能的な色が多く、次いで「青」「白」であった。女性は「青」「緑」などファッション

性を感じさせる色が多数を占め、次いで「茶」と「透明」の順であった。

8 日本酒容器の容量 (表12)

日本酒容器の容量としては「500 ml」「720 ml」の容量を求める割合がそれぞれ20%、17%で目立った。しかし、「180 ml」「200 ml」の小容量の容器を合計すると18%になり、「1800 ml」「2000 ml」の大容量も合計すると18%になる。性別では、男性は「720 ml」が女性に比べ多いのに対し、女性は「300 ml」が最も多く、ついで「500 ml」「200 ml」「180 ml」などの小容量の容器を望む傾向が見られた。世代別では、20・30代が「300 ml」「500 ml」など比較的小容量を望む

表11 日本酒の容器の色として最もふさわしいのは (単位 %)

	回答数 (n)	青	透明	茶	緑	白	黒	水色	淡い色	紫	山吹	赤
全体	135	21	21	19	14	13	4	4	1	1	1	1
男性	80	16	25	21	10	15	6	3	1	1	0	1
女性	54	30	15	15	20	9	0	6	2	2	2	0
20・30代	66	20	24	26	9	9	5	6	2	0	0	0
40・50代	45	27	16	11	22	16	2	0	2	2	2	0
60・70代	15	20	33	20	7	0	7	7	0	0	0	7

表12 日本酒容器の容量としては (単位 %)

	回答数 (n)	180ml	200ml	300ml	500ml	720ml	900ml	1000ml	1800ml	2000ml	その他
全体	218	10	8	14	20	17	5	9	14	4	0
男性	132	8	5	11	23	22	4	9	14	5	0
女性	85	13	13	19	15	9	7	8	13	2	0
20・30代	90	7	11	23	22	10	4	9	10	3	0
40・50代	92	10	5	8	23	22	7	9	14	3	0
60・70代	32	19	3	6	6	22	3	9	25	6	0

表13 日本酒容器としてふさわしい材質 (単位 %)

	回答数 (n)	ガラス	ペットボトル	陶磁器	アルミ	紙	スチール	その他
全体	216	69	7	13	1	10	0	0
男性	128	67	7	14	2	9	0	0
女性	87	74	7	10	0	9	0	0
20・30代	92	71	7	17	0	5	0	0
40・50代	90	67	10	10	2	11	0	0
60・70代	30	77	0	3	3	17	0	0

人が20%以上を占め、表6で示した若い年代で現在の日本酒容器の欠点として「容量が多い」という意見が多かったことを裏付ける結果となった。40・50代では「300ml」以下の小容量を望む声が少なく、「720ml」を望む声が比較的多い。60・70代では「1800ml」などの伝統的に使われてきている容量の容器を望む声が高かった。

9 日本酒容器の材質 (表13)

日本酒容器としてふさわしい材質は、「ガラス」が大多数を占めた。アルミと答えた人は1%で、スチールと答えた人はいなかった。年代別に集計すると、20・30代でもガラスが大多数を占め、「陶磁器」が17%で2番目に多い。40・50代でも

ガラスが大多数で、ペットボトル、陶磁器と紙がほぼ同数となっている。60・70代ではガラスと紙でほとんどを占めている。

考 察

性別、年代別で分類して集計したが、このほかによく飲む酒類別等についても集計してみた。しかし、日本酒をよく飲む人と全体集計との差異はほとんどなかった。

今回の集計結果を総括すると、20・30代は少量瓶指向、冷酒指向、ワイン・リキュール指向があり、女性と似た傾向を示すことがわかった。また40・50代は燗酒指向、清酒指向という点で男性と似た傾向を示すことがわかった。さらに、リサイ

クルに関しては、男女・全世代にわたってリサイクルを支持する回答が他の回答を上回っており、リサイクル問題に関心を持たれていることが示された。このことの反映として、一升瓶についても支持される理由が理解できる。しかし、男性よりリサイクルに関心が高い女性はリターナブルにど

ちらかというと適さない少量容器やリサイクルしにくい「青」「緑」などの色を好むという矛盾が見られる。その他、日本酒の容器として素材としてガラスを求めながら、欠点として重いという指摘が目立ちつことから、ビールや酒類以外の飲料で使われている軽量瓶の開発も急がれる。